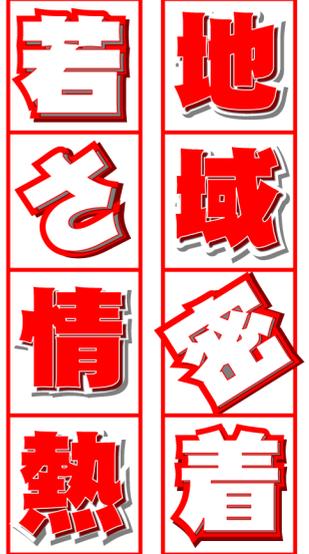




政策 ジャーナル Journal Vol.20

発行 平成22年6月
THE SPRING 2010 ISSUE of Komatsuzaki, Fumiyoshi

皆様の広い意見を
募集しております。



小松崎 ふみよし

Challenge For Advance

要ではあるもの編成は、必
 思いでどの事業費を削る
 かが重要でした。政交
 代こそは変えたいが、従
 の主張は書いた通り、山
 以前にも書いた通り、二
 政権は出来た崩壊はまし
 ュ、エストの崩壊はまし
 たが、従来からの算中、え
 ず、私財の算中、え
 たが、私財の算中、え
 負担は原則公共工事の
 ので、原則公共工事の
 り、受益の範囲が広い事
 考え、受益の範囲が広い事
 替え、受益の範囲が広い事
 のしか、受益の範囲が広い事
 近隣の賃貸住宅の空いて
 いる状態を考えると、緊急
 性が乏しい、解体だけ
 あれば、防災上仕方ない
 しても、近隣自治会の反
 ても、近隣自治会の反
 ている、近隣自治会の反
 人へ、今回は矛盾して、か
 す。今回は矛盾して、か
 会や高齢者に厳しく、自
 民では、高齢者に厳しく、自
 を対象としない、プロ市民
 も多く、スリム化に失敗
 した残念な予算になった
 気が残ります。予算を緊
 予算にすぎず、予算を緊
 ば、撒きすぎず、予算を緊
 膨らみすぎず、予算を緊
 し、膨らみすぎず、予算を緊

ごあいさつ



平成22年第1回定例会一般質問概要

●〈1〉財政力と千葉市債について

Q. 今回国から交付金を受けたことは評価できる。千葉市の財政力指数と政令市での位置づけは。

A. 18政令市中4番目に高い財政力になっている。

Q. 実質公債費比率は千葉市の実態を表していると思うか。

A. 償還能力の違いから団体の規模財政力に応じた基準に見直すよう働きかけている。

千葉市は横浜と共に、財政力指数が高く不交付団体なのに財政が厳しいという、例外的な自治体である。また、生活保護費等扶助費が過大で財政再建団体への数値が近くなっている。扶助費の市の負担率の改定や実質公債費比率の算定方式の改定が必要。そうしないと、今回の給食費の委託化など、抜本的な改革に対し算定方式が足かせとなっている。早急に市長の指導力を発揮し指標の算定式の改善を望む。

●〈2〉違反屋外広告物の取締りについて

Q. 突き出し看板が道路区域に入っている場合の占用許可の基準は。

A. 一定の基準の自家用看板に認めている。

Q. 萩台の国道16号脇の生活道路内に設置されているホテルの看板への対応は。

A. 市としても撤去に努める。

この厳しい経済情勢の中、商店街など弱者ばかりをいじめているという意見もある。萩台の事例のような土台ごと巨大な違法看板に対しては、処置をしないというのは不公平、悪質な看板は罰金等の徴収を厳格に行い、法的対応も徹底するべき。

●〈3〉待機児童について

Q. 自民党前政権時代の経済対策により、待機児童数は改善されているが、保育施設の老朽化は、まだ改善が見られない。「待機児童解消に向けたアクションプラン2010」では施設の老朽化対策をどのように解決をつけていくのか、10～20年先の少子化の際には、応急の修繕した施設はどの様に扱うのか、老朽化対策のプランの策定の予定はあるのか。

A. 保育に支障のないように修繕する。国の動向を見る。
(プラン予定については回答なし)

120人定員だと2億5千万円の4分の1の約6,150万円の市費で改築できる、修繕費用もほぼ同等の数千万円掛かり、いずれ根本的な改築などが必要。以前の議会で民営化しても保育の質は下がらないと市長の答弁があった。市長を支援した一部のものが民営化に反対しているが無駄を省く小さな政府の理念を通すべき。確かに保育の民営化を行うことを唱えた選挙では、推進する立場には厳しい選挙となるが、将来を憂慮するのは政治家、選挙を心配

するのは政治屋、保育所の民営化を老朽化した施設だけでも行うべき、選挙に怯んではいけない。

●〈4〉体育館の耐震化について

Q. 屋内運動場は児童生徒・地域住民の方にとって、体育施設開放、災害時の一時避難場所として大変重要で早期の耐震化が求められる、実施状況と今後の見通し、補強工事の経費と工事内容・期間は。

A. 耐震化の補強工事を27年度までに完了させる。1棟あたり、約3千万円から7千万円。補強部材の取付け、体育器具などの補強、照明器具の交換等。

耐震化工事の際には設計の前から地域住民に報告をし、要望や体育館の問題点を拾い上げ、出来るだけの対策をとるべき。また冷暖房を入れるというのは財政的にも環境問題的にも課題が多い、体育館の窓ガラス等に一般家屋で言う網戸のようにしてはどうか。

●〈5〉新港・横戸町線について

Q. 「新港横戸町線」どのような形で供用するのか、また、供用開始における周知方法は。

A. まずは、JR京葉線高架脇の黒砂橋交差点から穴川十字路までを国体までに供用、平成23年度末に副道を含む全線供用。広く周知し、道路案内標識を充実させ、利用の促進を図る。

京葉線や13号橋との結節点、また、穴川十字路との結節点は開通後大きな渋滞が予想されるので速やかな対応を望む。今後は生活関連道路の整備に傾注して欲しい。

●〈6〉自治会・町内会について

Q. 事務委託費の減額のみならず敬老会補助・資源回収促進奨励補助金の減額が予定されている、市民に受け入れられると思うか、また現状、どの位の関係団体の責任者が承知していると思うか。

A. 千葉市町内自治会連絡協議会理事会において、連絡費の減額を説明。(受け入れ、認知については言及なし)

今回の予算では自治会館の修繕費などは認めているが、近年の異常気象により雨漏りなどの緊急的な部分にも対応していくべき。4月には各自治会で総会が開かれる、自治会によっては総会資料をすでに印刷所に出してしまったところもあり、運営に支障をきたす。きちんとした説明と対処をすべき。



● 〈7〉高齢者支援について

(1) 敬老会支援について

- Q. 対象者と単価を変更したが、平成20年度実績でいくと全体の委託料の削減効果は、補助金で賄えない場合はどこが負担しているのか。
- A. 6, 172万円の削減。町内自治会や社会福祉協議会なども負担ほとんどの自治会では補助金では不足し、他からの充当で賄っていた。自治会でも、敬老会補助以外でも減額なので、充当は困難。この3つの減額が全て自治会にかかる。予算が厳しいからこそその住民参加へ配慮を。

(2) 高齢者福祉施設について

- Q. 待機者の多い特別養護老人ホームの整備は急務。しかし6年前に補助金不正等の大きな問題のあった法人「鳳雄会」が選定された、「罪を憎んで人を憎まず」という言葉もあるが、既に八千代市でも福祉施設の運営が決まっていたのに報告せず千葉市での整備を申請し、問題があるとされると最優先整備の確約書を出した、それをも反故にした。四街道でも保育園を整備することから、運営能力が疑問視される。
- A) 整備事業者を募集するにあたり、手法と募集期間は、老人福祉施設協議会への様に説明は。
- A. 市のHPに、昨年8月27日に掲載、老人福祉施設協議会へは、昨年9月7日に「施設長会議」を開催し、募集を行う施設の規模・内容及び事業者選定の時期などについて説明。
- Q. B) 選定された「鳳雄会」が、他の地区で同様の計画、その他の新規事業を計画していないのか調査したのか。問題がある法人が辞退した場合は既に決まっている予算は
- A. 昨年12月に、また本年1月に他の計画を知った。(が聞いていなかった) 一般的には減額補正として処理。
- Q. C) 1施設しか運営していない、「鳳雄会」が同時に新たな3つの事業を当局は運営できると思うか。社会福祉法人設立認可等審査委員会での意見は。資金・スタッフの確保は

- A. 新たに3つの事業運営を手掛けることは相当の体力を要する。建設予定地が傾斜地という土砂災害等の懸念が出た。資金計画やスタッフ確保の見直しなどについて説明を求める

以前から熊谷市長が議員の親族が公共の仕事を受注するのはおかしいといていたことに矛盾する、全くガラス張りではない。当局も自信をもって運営できると言えない、介護スタッフ不足は公募に申し込む法人が少ない理由でもある。この千葉の計画を辞退するか、他市で行われる計画を辞退して千葉市で丁寧な経営をするべき。この計画は多くの会派、議員が疑問を持ち、3施設でかぶる時期も含めて資金の正当性を確認し、職員に責任転嫁せずに相当の覚悟と全責任を熊谷市長がもって、計画の推進にあたるべき。

2回目質問

- Q. F) 市長は「鳳雄会」が計画している3施設の整備が本当に万全に運営できると思うのか。
- A. 同一法人の同時3施設運営には、綿密な整備計画を立てる必要がある、法人に再度確認する。(つまりどうですかね?と他人事の回答) 答弁になってない、思うのか、思わないのか聞いたのに、ただ再度調査する、との事なので、再度調査の結果、進めた場合には自信あり、やめた場合には自信がない、と理解します。

● 〈8〉スポーツ振興について

- Q. スポーツの活動場所の確保は。スポーツを行う市民向けにAEDの貸出を行っているのか
- A. 利用時間の有効活用や、スペースを分割した複数団体の同時利用等に取り組みむ、市民のスポーツ活動の場の確保に努める、市役所や区役所などの施設に設置してあるAEDは、土日・祝日などの閉庁時に市民に貸し出す。
- 子供たちやお年寄りの運動できる場所や文化を楽しめる場所を新たな予算をかけない範囲の中で規制緩和し現状しっかりと確保してほしい。AEDの予約による貸出制度は承知したので周知してほしい。



市長が自治会関連の補助金減額案を提案しましたが、千葉市町内自治会連絡協議会や自治会関係者から減額に反対する強い要望を頂き、私達は現行の金額の維持を強く求めました。しかし民主党や市民ネットに反対され、減額案が決定されるどころでした。地域コミュニティーの基礎である自治会の予算を削ることはできないと主張を崩さず、その結果決定したのが以下の表です。

● 実在する稲毛区の450世帯の場合の自治会への今回の予算への影響

	【昨年通り・ 自民組み換え 対象者120人(70歳以上)】	市長案(民主・ネット賛成) 対象者70人(75歳以上)	今回の成立案 (自民他2会派案) 対象者70人(75歳以上)
事務委託料	18万円 (400円X人数)	13万5千円 (300円X人数) ▲4万5千円	18万円 (400円X人数) 0
敬老会補助	9万9600円 (830円X人数)	3万5千円 (500円X人数) ▲6万4500	4万5500円 (650円X人数) ▲5万4100円
総計	27万9600円	17万円 ▲10万9600円	22万5500円 ▲5万4100円

市長案だと約11万円の削減ですが、今回成立した修正案(自民他2会派案)では影響額は約5万5千円で済みましたが、私も3会派も今回の修正で満足してはおりませんが、今後も自治会活動の活性化に向けて市当局に働きかけ今年の敬老会にも一定の配慮を求めると共に、別のムダな予算を削減し、来年度は敬老会を従来通り開催できる予算編成を求めていく所存です。



市政報告会

日時：平成22年6月26日(土) 15:30開会
会場：千葉市長沼原勤労市民プラザ
電話：043-257-1863
住所：稲毛区長沼原町304-1

(駐車台数が限られております、車でお越しの方はなるべくお乗りあわせでお越し下さい)

テーマ

- ・地域コミュニティー強化
- ・地域の生活環境整備他

※他の地区でも順次開催予定です。

株京成バスへの要望

- ① 東京への高速バスの改良
 - ・朝晩の通勤時間帯を左表の様に宮野木や柏台まで始発を延長してもらいたい
 - ・山王地区への朝晩の通勤時間帯の運行
 - ・千葉北警察署近くの犢橋中学校入り口バス停への停車
 - ・ディズニーリゾートへの休日運行
 - ・羽田までの路線の新設
 - ② 山王町から四街道駅へのバス路線新設を(株)内陸バスへの働きかけ
 - ③ プラウドタウン(宮の杜)～稲毛駅までのアクセス改善
 - ・京成団地経由のバスの通勤時間帯の増発
 - ・土木事務所・宮野木スポーツセンター経由路線の新設
- ※ これらの順次実現を交通政策の目標とします。

▶ 小松崎ふみよしプロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ
法政大学法学部法律学科卒業
(現在校友会千葉中央支部常任幹事)
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書にて退職
千葉市立山王小学校卒業
千葉市立犢橋中学校卒業
千葉市議会議員(稲毛区選出)当選
環境建設副委員長
自民党千葉支連青年部長・稲毛区支部長

千葉市第37地区町内自治会連絡協議会顧問(山王中学校区)
千葉市少年軟式野球協会顧問
稲毛区少年軟式野球連盟顧問
山王FC会長、総武リーグ顧問
千葉市廃棄物減量等推進審議会委員
千葉市都市計画審議会委員等

事務所

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話：043-424-0001 FAX：043-421-6667
E-mail：fumiyoshi@joy.hi-ho.ne.jp

事務所開設時間 【月・水】
10:00-12:00 13:00-16:00
(不在時は小松崎本人の携帯に転送されます)

お問い合わせ・ご意見をお待ちしております